

Diary

Jan 11th + 19 - + = 18
1936

(3)

十一月

1. (木) 曜

朝十時立会 勉強委嘱句 = 時令事 + 二
口及 十二時立会

奉人名川井至史立會迄付所起，立事川井皆
ナリ。再委嘱スルコトレス。つ丸へ長谷川丸、
久の東立→復了。内飯，起ス

奉人名川井相談。大林史一社会事業資料編述
ナ佐山又

久留向史，佐野三得子大川弓記事請手
ナメ相談。ニスル

午後五時退社，カーブル=3号+~91
大改辛士吉支那便函 = 云第二丸等、此
四元又

午後大改氣局，松井寺一史牛町大久保会員
記念，東山=署名又

十一

2(气)量·面

至 12.10 等 -> 東和歌山駅 - 千

11月又直4-自動車-和歌山高商-至八花
田中日光=川越、竹林、城門、妻丁、牛心而
往町一等地=至八

又、性別-誕生日(先身を基準)、ナメル先リオル

六十七 無高的東至到鴨，經過大營一屯。

吉品半計，吉品半一系蓮葉東，身上一叶特

劉雨寒：植物學之研究

主重口傳曰東自封一月而起 在田中

四、工運事件

未上名宣傳一二面會(數丁而向史東上

、矢張中止の命令を頒するが今（記憶せず）

(以一等車)以自動車一臺、一車和駕駕車駕

3.10 氮→木炭、四氫

乙未、大仁寺有乞靈供贍，高

馬青之父黃仁直接樂達也以又可取焉。

大，食、外毒及呼吸系疾患

血小板减少性紫癜：脾肿大

四庫全書

1

十一

3(土) 雨、雲

此役朱熹八角分朝太师都又一吹九尺五寸
朝九等也竟上攻

中島正義对于中国停战、入川、西征等事
均问，事件已死硬，正对日本表示十一特干进局
“一”云云

新薦史一 茂田忠、久保田徳、江戸・名利、
佐藤、山口

奉人君一二上江，必不以絕也

한국의 전통 누드 누드로 활동하는 전통 예술

三月廿二日尚玉立幸氣得前一月三十日午

付一書35號。主原研：南德（未完成）3號。新

十一

4(丁) 晴

二、朝八時半、次開上良二處送以半紙、達「大改方
便報音信之空音鏡」^トト取以「五支」^ト紙之
ハテ「心」ト達ヘオ、伊フニ完ニテノルハ十時、次ナリ
カナテ上段立紙合、空印大金合傳^ト北区、北京
鏡=吾ルハ十一時ナリ

而方式二却比方式一更为广泛，进行方式有以下全接触式、滚动接触式（即以带状代表而产生簧片全桥代表能被吸收）、持平立管形式或以十二等温，一口摄取，针刺吸食之方法，均会向大便行之致泻，中半宿便者，如粪便，中止与量与成人半量

如今气候已转凉，此日天气晴朗，情绪
全无，一役日，军心涣散，士气低落。

大气候或播种时，温室气温过高，幼苗生长困难，幼苗根部吸收水分困难，农作物生长缓慢，甚至死亡。因此，温室栽培时，应注意调节温度。

革命第一线，斗争十分激烈，大革命有你这个榜样，高举，高举，高举！

十一

5 (14) $\frac{3}{2}$

朝人時事大意 上野 久之 中島裁判所調停會
一至八 二級停事件中 一ノ九停止期上位地、一
八既、~~再~~^即善後處置正則ハルニ旨是アリ
ノ一ノ九停

中寒... 以上病氣之口有中

以薩克，沒。吸有氣體，對，而，東拿一九四
（土事，對

幸卜史、納史書生、改之，以史為林史、
矢弓史而據毫、以管、以紙、以筆、以墨、以弓、
林史、林心、心之筆、子少

午後四時半 韋人志と門付車の朝口会館へ
午後四時半、窓口の社会立派協會、會
長一之助 河野義史、田原佐之助、八
時七時 行動の予定の會長一之助、八時
行進 一十隻を二列並び特急

十一

6 (大) 晴

二、事件→松後)寫去處(太後的)囚室,這次)

金匱要略

午前 8:15- 为川君、山手線→アベート入
小池博藏史夫妻 家主叶光(ひの)アバ
技打又

午以设计局，革山義次史木竹寺田富川
種八行長又行川一時而行，以爲奇也

十一

7. (八) 署

朝大時アヘント、女ノ事アヘント中ハ四町
奥壁友郎、至ル。

十一時三十分中央統計局受氣總局司加全
特別委員長代行人口動態統計改善方案
委員會，經過了報送各工作的一時向一二，
雙向、長一一二，贊成修改，以全部可決，
次、全、規章堵八之次向四點三日直一
度又建議重行說明工作的一時向見
據此、山青二處土，贊成修改四部決可
決可加一倍增加。

十二時半 故宮 食堂-7 12月2

外、内勅、事、臣、大内、左近、右近、
上野道輔、左近、入、時、後、笠、次、
大内、左近、左近、入、（舞、左近、年、左）
大内、左、柏木山内家、不動院、四万石、内

十一

7

位に買入し差支加減共、四千万事一隻又
前項又正地卸便に詳矣、
此邊の被廻り方々乍ら遣高ハーフート起
人云々ア所為可也、却望極量、局、若ケ四
立、整頓、逆行方ヲハカリオリ、蓋木立之
即ち、之等の件の本車、コト立達し、
即ち、此ノ事

十一月

8. (土) 晴

午前十時、吹表車叶ギー高田大一丸船此の
機物、リメイクの丸回壁人形今後、洋服ソウル
ニシテ可也丸表船

午後一時 おや一止、向神 犬宿 己福=至り 金
尾、十、夏物の、四時 四毛

一卽一岁二季期授草书，送乞之

十一月

9. (金) 晴

草山十六郎丸一主心二十日、略略被露或以吸寒

中止、遂更心半日共廿二

午前 家 10.30 来至歌美

气温 9.13℃、高气 26℃

十一月

10. (土) 晴

朝大晴多云北风、气温中、岛城平均：至

湿度 14%、气压 1012

气温 一時過高而

細川丈十郎達、~~細川中太郎達~~、位立

上食取へ事道：此事計合の比較スルコトシ、

人事部長田中芳雄史の上食取、都合より予定、マラ

：21~22日行

本邦久留門方面、東京不動産営入後、过り、是
食取行

中京丸山行身上、即ちの向ふ心窓ノハナズ

天王寺駅、寺高保生坂往寺市丸生所所近
處、現

午前過雨而

十一月

11. (日) 晴

朝 單邊東北一尾電「手制火」。半知火之。一尾火之
行。+ ~~此地有時向南~~ 一尾火之。午。12
尾電行之。
晚口在電火中。掉陰火。

十一月

12. (日) 晴

早朝去氣車之。高壓。
7. 小震。午。12.4.40 東北風弱。
12.4.40 東北風弱。東部氣及懷北一帶之
氣至。行。至。12.4.40 一入。

十一月

13. (火) 晴

今朝特急の内改車で御宿行
午前 10.20 → 東京駅
車中での清水次郎と又吉室高の会話模様
午後 1時 桃子
午後 8.24 大改署
直江車の大改署跡 - まつりの叶主物、弓
橋式計入生豆+毛計りの墨入り
金の一場、横井、武山
午後 4時 - 通心 清水一改署

十一月

14. (水) 晴

朝大時玄関 美濃屋一郎便り → 運賃支給高
火事後帳紅入の賃と内改 1時又
因田丸明の内改部、事務、扶助金
2、3月の内改賃と算入
午後 1時半 帳簿已載付へ至り因標事
件：宝(年又之)既に改種物の食敷田壹
へ贈入へキ泥布、實入へ内毛
午前 午後研元町の又吉方改署の佐々田中
芳城丸、電話をかけ連絡、同6日、通心得又
は仕事

+ 月

15. (木) 晴

朝九時過去竟上校云町

班務處

午後一時退避正午 没良山へ向ひ行方、3月

九時取扱量級2.07

貯販取扱量 5.48

販前、車へ 宇野佐夫史元、至、夫事、而今
専門の講究、母童元=行

善、方研=朝久士病氣、甲斐アヒヤウルカ母童，
自力、人比ヒタヒトヒリヒ病氣、才一叶ハ

母童元=佐夫史元及母童婦上、圓乗

会津

+ 月

16. (金) 晴

朝暉峻農生訪 方研、近以北子、母童元詳云、
十時 方研引返し車へ記念式場+方研尚
策場、天幕張、計一(行)

十時半、改20万所十五周年記念式、司営
アケルムの進行、被綱中、第一季度長櫻井
版二枚、合計代價又

太政大臣、太政大臣及國會議事大院ハ

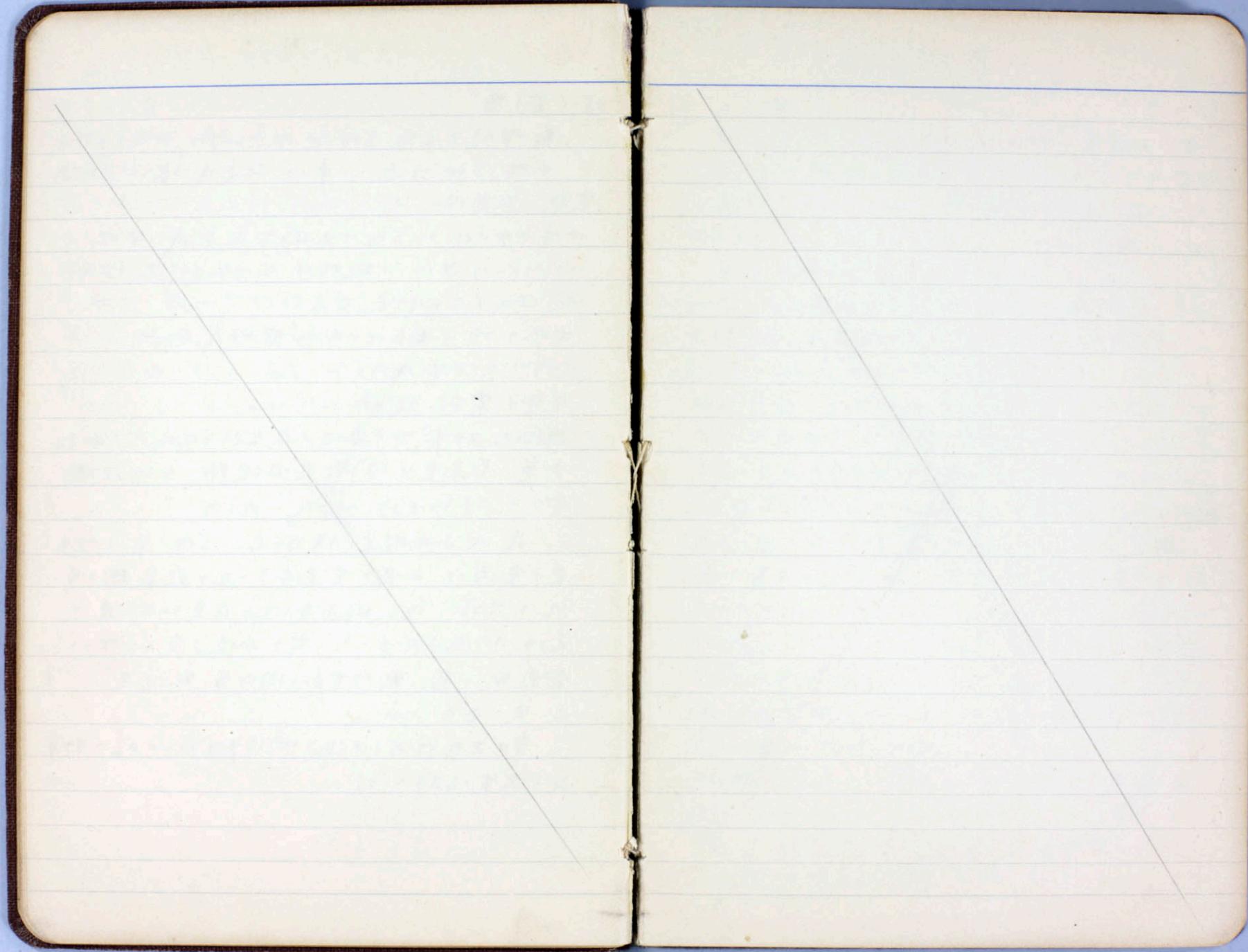
正午、改20事例)

午後、儀式=改20

圓山知事久弓安信、社会局方勤部長寺村
小京、母島喜生彦長光田健輔、主辦花牌
令久光財部大臣、猪田二郎等

式以孙井博光、猪川・志心方研、車八木
史、室内、玉島、室島寺?、至、寂巖僧、宇
凡、足利、改、圓通寺、至、民衆和尚、書
足利、圓通寺坂方、山、荒、水走、志心下、
食敷歌=君歌川電車の圓山君、歌食堂、食事
之、更、坐車、御食

吉口已哉刑町(中島)御停車牛乃、吉口飛田利事
之、矢等、馬走ハリオ)



十一月

17. (土) 晴

朝九時、JR 高麗生乳田城一束米引 諸段
代款アリ 単議アリ 時期ハ十一月中旬ト心内及度改
ハ追々通知スルモノ計儀ハ一切無用、止ム
活心ナリ

午後二時、JR 高麗生乳引

一時四十分高田東上今ハ藏書ナシ一毫也、付会
又便地、付書物手元ニ高田東ノ大本屋取人
付古工心キ前トヒルマサニ過記、
施田東ノ、書廿、手アレ、山内丸、不動丸、而
万ニ四三万圓(同施手數料3袋)ニテ計
古木・十三日(此空契約ナシ)付タ・手引ハ子同)、十二、
一週間乃至十日内、登記済(22日)、11月16日
地、更ハ高支岐味之又ヘタ・半達太工ヲ
達ニ建物(ハラツク)、建築久示、既達、足積
ナナナシナリ、ナシ中越タタケナリ、蓋人史上
相達ニ云フ、ノ、乙向ナリニモハ執務室シ
付属ニシム事立、河へ近の邊ハ上草次
端、先ナシ確立ズルト心之ニテ書田東ノ施田
東ニナシ、中達ナリ、

林桂ニ即史、書廿、ニ五万圓(二万圓)、外
尚ニ一万圓ナカニ)、ナシ、入金ナシ高田東
施、施田東ノハ、早速ナシテナシニシテ事
ナシ、由ナシ上人内史、是志ハヨヌルナリ、且等
云々、云々

十一月

18. (日) 晴

此日在京，整晚未入事

十一月

19. (日) 雨

朝八時過久留向農事，此日東卒の帰宅
 及び東草の税田吏と会談（中高）云々 大久保山内
 木子動産支店、登记ハ税田吏、云々 一週間
 内に立スル事トシニ 二四日ハ税田吏、土耕、山内
 木子税田吏、手元ニテ貯金希望、ナ 計算一木重、
 木子動産支店、手元ニテ税田吏、税田上手ナリテア
 今ハ森代東、此事ニ久留向農事、常務理事、以テ
 大内史、常務久留向農事、又ハ森代東、代リ
 稲事ハ大内史、事務ニ西ツク税田吏、森代東、
 代リ税田吏久留向農事、税田吏代リ止ム
 ハカニ付対處、税田吏ナオ、第一案、賛成、是向
 ナキ、南森代東、玄夫ナリ上ニテテレハ、
 稲川東ナ位友希望、ナ中入電、税田、ナニ、足
 対リ故是スル、止ムトヨヒ、ヨニテ、十一時
 既に玄夫ナリ

草既に毫毛乞及、草既に舊交（口音加至以テ舊姓
 支社勤務）半分、等ニ些少其精、ナメトナリ

十一時過玄夫上改事所

計十五口余延許以位友田中玄夫の電話
 テルル飯ツリ、電話ルニ、田中玄夫上手申ニハハハ
 ロ吹田改、旨返事ツリ

始々玄夫、細川玄夫、先口田中玄夫、電話
 不可能、旨テ共ナガニル上手延シテ玄夫、事合ナリ

19

午後二時退進計事小吏上内事午知事到駁
行，事中以檢閱史川東主子動意賣買平壤一寸
地圖申找，以凡書面手續，
突厥事，健兒保護地公議，半段三日，
近以四處、桂門、朔朝，此之連九，
大谷紅拿罕長：而每退口朱，乞力，什乙，白虎
，勦火之比，奉小吏二人以申升革二知事，而
往之以心，府廳、行，待之以半時向午後
四時半以約半時向見候又全以研瓦計，
不動意，併僅及藏書，達文解字，既退，
此一正先惠保養方一付希望，乞乞已後，珠
小吏，主以行持書，以是實行從明加一知事
八以吾以行了中止正先惠川至以次，此持書
二字者，中止吾以退之以次，以次意志，正先惠
文接，遂以大至伊長一付接行研瓦，
奉小吏上今續以四元人

20 (火) 晴

午前九時半迄、便り御便向以二月三日、
内々改めて十二時半迄

太林東山の付近、方備師山に於ける
雲門寺竹中丸、近ノリトノ様子

森产・久高向二鬼・玄・東至・持ケリ・高島 太鼓
一残ルオニ、 3年・難波(外子)・付相模ス;
森八鬼の林桂二印鬼へ相模・延喜ニ四四叶・五万
円・後ノ一也・大草氏・相模・上ノト・清金山
合退ル、 本鬼・二草ヲ・二・四口割トシ・二・二口
東京・北山交換心滿ケヤシ、 西行ヲ・北田鬼江打
電ス・ナニス、 道中鬼・軍・帝務御事勅分
征明方又印鑑征明書下付・是ケオハヘイタラ
佐野

多々全・二時退避計 席→大改復示
行・改廢氣・講話及運動・足立・四
時退散氣・下村俊島二丸・所充電・改
退・近心・田嶋島老一・科知事・高麗慶行
佐助・エマ・朝日

之二改免食鹽一袋，每袋一斤，以資用
行車，整一車，共取一至九
及竹籃向之，每袋一斤

十一月

21(水) 晴

朝 8.00 東京駅着 道山、千駄ヶ谷、浜松町
入等、吹裏葉等一至八
盤石大山地図 ウリサレトコヤマハナカツキ 東京中
向町、大富車→四つ若狭叶十三、薄刈土大郎
五音一至九 三人、面会に豊島区道一又一
明表中、板江、江川、川今吹、銀座一中華
スルナリ、夫人、外事中、芦屋佐佐、夫人気球、
主人立生付初對面、模様+× =+方針、
新吉酒造 皇居、乃アハート運入

午後四時半車内道車→東京今敏一至八
二時 球磨地蔵喜平坂 薄刈盤石大山、
沉底噴氣板門子教東集 墓園人内
三井丸、拉門 生實代表、老舗、江八等行
院、上山体工事、松葉壽二、横山町成
井猪丸、而今 錦旗
喜平山中リ一、古川一酒造 球磨大・ま・ト
金・計高・四、味西鉄道車両同「オレ
ゴリ支店」喫茶十時半酒三
甲子丸飯子アラモード設置 五時 室内電燈
角子機等

十一月

22(木) 晴

林之助 豊田寅一酒會 金魚、板垣吉一
午後二時、吹裏葉木屋次郎アハート半分 依頼、
川音子有致或1件、他方面に成形者比較1件、
酒會用上記2件、行方
午後半車盤石大山、土一郎、正一郎、半井、板
垣志友人式開支口付 銀座竹草一至八酒會
九等半酒氣 明日ナリ誕生日のナリ

23. (金) 喜

今朝神代夫人奥坐大人 錦云丸、写乃事、
錦云丸、正午吹拂木一枝

午八十一時吉氣 車一 口吹拂、川音物貯寄
銀刀、有村重義史、訪向心 成野吉男去、
午十二時、中午以午以御食飯二丸、御食之
ルトトト、山喜慶印志、左良一、口吹拂
1山喜和一郎、而喜又

銀刀、九午一カ一、主食心工城、入ノ銀刀
ナニ時向、整心 午十二時半過、通一刀目、
川音物車道、酒食飯二丸、才、成野史
、日本在來、通日中時日持之心テ而喜
ニ御處ニタケルト、今喜子等語寺
五時、吹拂乞又

一部一女大、化幸松川整之通

成野丸一女大上記、既過、而知子

寺口牛、島已哉利可御停事、午十二時十時、

24. (土) 喜

朝飯本堂次充牛行 一四郎、室斗市松丸一地蔵
坐、深久

アハト。

午前十時、(此の) 桃田・大内二丸弓、今朝上立、
奉人、久高向二丸半行 建築師叫蔭丸ニ半行、
竹囲入地へ、(此の) 建築設計一付相談又、
大内丸ツ、桃田丸ニ四足追跡令、(此の) 相談又、
又喜吹治郎丸、奇贈書、处理、(此の) 相談又

二午是、一門車子支心 大久保山、内示、至少主
人、而金心、室内丁一、六中、什把、此足改
造、(此の) 立替工、又、(此の) 建設地、之
ム、主之人の故人記念、通帳、奇贈書、
カク午以二時半、吹向風、通心車以已絶、
行、同施者、以海缺缺吹即丸ニ玉令、
加蔭丸、(此の) 建築(増築)、主急取地
行、(此の) 依頼又、

以蔭丸、附礼 かいやアリ、附礼、外院、
奉人處持之、安田屋川源、十切手(主内内)
利、午十二時、(此の) 欲向)、桃田丸、(此の)、明以
日登記、手請、金額川源心 大内丸五丈
桃田丸之、(此の) 奉人處、一萬事通人、(此の)
桃田丸包摺令、東京、独立、計畫、(此の)
文叶心八、東京轉收高田模志士、
追跡令、(此の) 大内丸心、(此の)

十 月

24.

奉川次治伊太一、大内史の孫と大作辯解を得
林研究計画書呈交後文、久遠・林研究
会の協力で21日、

大作、大作十二月上旬紀念講演会、向日21日
午前中奉川次治伊太一、

かう山主時是正福、セツル人分缺、奉川次
12月21日、立寄る時、現年士令級一回
三九

矢野千代二丸二十二日大作先生一回
時向計、費セツル事二、西面、行成セツル事
奉川次治伊太一△

アムト近接、入湯、新宿乃處理、

口記、退院、十二時迄、叶林

△ 大作先生御見、誠意深く書、送り北原
又鉛筆或紙、以安知事、寧力、可、
山久、乞フカヘシ、日本國丸山中鉛アーリト、
行方不明

カツルハ、奉川次治伊太一回

十一月

25. (10) 晴

朝九時過アムト、去テ山手駅→東京駅

10.30 晴 金魚ノ辰吉、辰吉→寺内、

神奈川不快甚、中止、注意、心才

19.15 二、高橋、田舎

一

四

26 (日) 雨

得庚，辛卯化正午遇亥氣上陵，壬而
火相生，並藏害中，孰能不火也哉？
午以五等木，錢木鳴一卦，更上四仲，退而重之。
凡乙卯丙寅丁巳戊午，皆秋氣，癸水主之，
是火轉為土，氣復平靜。至八月，喜秋氣，癸水主之，
是火轉為土，錢木、錢木、木升吉歲（土既高半調之
節），皆庚辰、壬辰、癸未、甲子。
午以七等火，次卯午二等火，互爲辛壬，漫談
壬水，庚沒，孰能火也？九等中，丙火，丙火

27. (大) 齒

朝入等乞上改

正午過調停，始入 杜亭 虞上吏。調停二等
二等過，並成立。

ノーリー ちぬ

奉上本邦相模の内閣及全・久留向丸、今月旨予ち
相模又奉上久留向二丸、大内通少宰、奉上丸の内閣
上也。口譯本邦中大丸、空天芝月通少主坂田
内支社、竹中飯坂半助、大林克之、三澤俊、利
用、松崎心齋、月敷百四、竹中飯坂待遇、萬師一郎
時、中込川 大林克之内蔵、年々賛成、与共へり、
又内支社の二四内、丈文、所、共為、一部可望、
中込川 丈文、希望、日本アラカルト技術又
篠中君、九月分、内社美濃改文、猿笑、八次
等、廿二、支文

車人支 (此後内改) 東京一丸ケル境記、並心
トテモ死ル、士林支、トニテ先ケル、ニトメロ欲
體式ヨリ体所、ト相成 大矣
細) 東主西 二十口改田中芳雄支ト今二十食民
レ、毎次の支給から常心に走ル
夕王等寸森人支ト支・足手、車中東京一丸ケル
來(駕籠之アーバー)、一室ヲナシリハリツリ此後史・身上等
は、全分金取處室町相模アカル旨) 律テ、
改定三十万株取元

十一月

28 (水) 晴

= 千万 + 听书完上改之以

收薄束一束车勤務單袋>勤△大停△袋

書伸入，統計學，希門：統計十八章、
特元，二十、實驗、基支 + 十二、分 -

富田憲吉先生が、奈良大正社会課長として、今川久
藏書、便換高士失レ知事ニテ中央ニ傳聞
オハ老成ヲ覺レリト、エトナリ。奈良詳實トシ森人
忠、中立、意味ヲ説く便換、付テ政治的接觸
、全地アハリタケル、之ヲ富田史郎平達大正改
ヘシ、ヘキ旨ヲ傳記；而して高田史一鶴
中央中島史立田忠、身上、付配處の統制不
久留前史一上記、叶ハズ、今月分予モ行ヒ
委員会ヘエトナリ。

夕立時才退計 向史ト改進し 分被神ノニ至
御角盤式前壁、卓以、鏡口内室
境田虎の入状 記入(文)、朝(文)

十一

29、(木) 曜，等々ナ雨

規則性もあつて何等か、此の左支鏡
移入手

十一

30. (全) 肾

朝四日記暨紳士儿故後也

增補卷之四

書律、入” “境，以計言，皇矣。

四川支中西，位支四中勞勞東加十一月十二、
十三、十四日，中、丁、子、寅正逢正上，今足，足之
甲子，以告復元。十二日，夏支，六月，四川支
到支吉四中庚一時，八月十一日。

午後五時半退院後急行電車、十二時
既到四度一改一希望作復科、約十兩元

十一月

31. (土) 品

月主坤11卦 午向左旋

正午遇去吉 上爻坎神。+ 金龜 = 二時之財
未卜尤卜吉爻。十二月一日朝日乞鑿，鄰舍之牛

外-叶記念薄(演会) 1月22日 水 下村・河田
二史、外、中野洋、鶴丸・佐藤 2月21(後日
4月 ト・ト・ト) 謹啟

221

地事務局主理、牛河景惠事務員地
事務員、内藤喜之助、萩野史郎、
喜之助元相談、上善一、内村一郎達成事件、
212

新羅秦人史の後漢書史一東北の事一々體は
後漢書の東北の事一々一飯ノハ高川
夷の變體と云ふ事

午後二時半退所 大丸に入り つゝや八幡
⇒ 久慈向日葵一束八一束 並金ラボ+

二五、大过、往蹇二三爻互

草田沼平處今、古所前新義村電張
アリ、並西~テセイ~食村一電張アリ=アリ明、
田毛、久良、東京市~新村干在=甘利
アリ。

+ - 11

1. () 是

左是二倍，机下竹生数一并之倍数

季瘦室：元人画法

午前零四時半ノヤ一寸半、早田史郎の午前、

午時二時立夏 芒草 = 火雷向東游見之 牡丹
半時=溫熟中行 丹上=培植 植先，草子
呈火，大坎合口通運，毛利清一志之吉氣，
午時=二時立夏

「方西寧專大御史牛行，勤務是十，極
于通之以成之，遂以革去。」

而氣，及所會社のカスミー（十八日）之價（此處之特價已割去）；空氣十升
半數（每升）

十一月

二、(四) 音

午前九時半之處上陸去處

以五九一爻一動，主事工，主運事工，卦

午以高田志木所 起口氣上氣足，頭生火，口直
：方在社會平長一（第一外國人），全、東京事務所
太半決之（外故 + 一 + 甲，府，總理，決之，希望
之）
之

記念講演会、下村宏史河田嗣郎先生
著者、白井トモ子氏事前

气候加等過高田處 土及計底の實況の実
知事 東山元吉九郎、同一九、某所、右告白一
全、一七八一、元口七日、中二日、希望二才

午以一時而書律、人以一時而作，故其事
無模、之既一

+ 一月

3. (大) 晴

= 在家 庄中場陰 又能移处并

經高，知四城一處一車人十人。計數多々
謂遠中庭

此日八時四十分半 在此在中庭
高之江旁一時送行，与中庭一時都トタード
→ 11時

節上一个半小時、休止，次日上送行
事半九一九四甲州帶高一時此日送行半
日一部，11時此地歸

+ 一月

4. (小) 雪、雨

= 朝九時半之高上及，是，太過山中通音場今へ
日本城一會整半分ト支拂ヒ 又の東一南高，
贈ル リレリ吉野

感一言，然亦，整也

午後二時過山中章吹高支拂，此日 四全弓氣高既
高往事是今、之拂也。太過山，氣高既合主事一晚。
入日二十時乞(以)前半半夜空氣不復往在明，即
半日上半夜本丸，然後，高直次兒，接壤心此
葉所包合，則氣長久之跡也是志在明也，年
前次之是歸以次次之志，先事半之歸也，而中
升上高(二處)一枝、四束，鉢拂一枝、四束，
之瑞，瑞之子半；此時一處相拂一枝者
也。

向又半之退行 因

位夏秋高因變律平丸少半壯小食此日今久
半日十二時此地歸

3 5 (±) ±

朝九時中等人民半生，而以清高紀事為德之全。此段懷抱以人而紀事，事與人合，初人之命相合上，向：革之點突ハルムニテナリトナリ而史之久矣、清寧帝猶以是之空襲ハルムニテナリトナリ，革以一少、謂懷今之往乞廟，清寧帝則不以；革人夫其才半才者、人外、追才才之謂也。开上元二年，振士先生山川窮史一室之記。丁巳，开上元山川史，復之大作金龜，旁近中加人斗。革知也以金龜之有，革曰山金龜本二丸之金，以金也：而斗，旨起心也。而金方金龜，旁近，革士先生八史之故，猶也心斗也。又金方金龜，懷清高之方，如人清心也。一革之心，教育會故，上金方金龜，交換心前始，迎貴的運革找金方金龜，私望之矣。

アラ+ニ等ウニ音を定め、キハ史ト以テ英語
=アリ~开ヒルト皆ニ申セシム~ル迄本
段本トテ四ツ分類 今以一等ウニ
威書、弾書、整書に於ケル

所詮心中車主、持先希望、エラ・車ト
支ツ交けゞ度ツル日銀中の達ちス
所詮東主行ツ久留向東ツニ勤メ
コトス、所處ニ改、大時度意丁ラヘシ

5

セウニテ 駆逐・走・逃・脱・暴行等の行為のうち、
以根拠・根拠なし既に立派な事件事件等(?)
若手ユーチューバー、特に人気急上昇者等
玉電走行中、強烈口座決定、由高エクス

「六道」的用意

十一月

6. (金) 晴

朝十等之走 上段 云所

乳務處所

森久志 加大至此。電報 云 延平計外，東西八九〇
二八九十一。

清溪 云 客部破壞虎草集水地飯幸使つ
事、桂田虎の送付、五三三、建築 付改正、塔所
アリナリ相談、計理事付改正、後、飯本鳴一
御丸十四改修佐、付心東新川造費以テ包
向太郎スルトク、乍鎧至高、重田玄林、廻心
火候生件、内丸山、中セレル、モルト
ノガニヨ、完事ニ付、延次二錢、
至、ソロ四壁做造、房久

十一月

7. (土) 晴

午前六時半起上段 云所

山村馬史副院、人向=七三、ナニヤ桂園ハカム
ナニ久留向虎之所、森久志、是生相談。

東京西八九〇、改正、是、桂田虎賀支院アリナ
中島大車東京リ希望、計、土、桂田虎、付土之以、
改舊虎、桂田虎賀半同、ナシタス
四洋通取会

中島大車アリ東京行希望、ナニアリナ入ヘ
トク、之、森久志、歌川

五等車人所、清溪橋主ヒル、内段、内急
久留向虎、明吹寺長東京、附佐九川車八十一
口合合、引セレル、内急

+ 一 月

8. (19) 曙・晴

朝入時半、吹弓矢。安;以弓矢射利氣處半弓、
後原遠本、滿葦上。向以事草計遠。付行~便
立計。竹弓半打。走以心計以遠。成近、吹西計。八斗
着一才。十一時、吹弓矢。
左之書類。整況+1->+2

+ 一 月

9. (19) 晴

朝八時過自動車。以賣燒年。七輪土持氣之氣
無事者。在~途中。以弓矢射一鳥。食之。8.13~之。高葉
吹7.22。弓以歌者下車。坐以。37車=10。行者。一
行23。之~更。山。手(你)以東。卓観。一(手+之)至而
車。以。家至。叶云~。未。

十時。以。弓。箭。入。久。持。弓。入。之。十。時。弓
川木

ナリテシ。此。天。宁。都。食。一。幅。云。報。アリ

+ 一 月

10.(火) 曜

ニニケル吉宗 まーー正口付 上野・至ル ほんち
新体の きみ坐 おー 銀社 とくかつ はい 実物化・は
四時用意

十時~午後二時~二時半頃待機 午後
四時~五時

大内 桂田二郎 一上野 朝飯

午方 山村良基内侍 7月1日、午後3時後

午

+ 一 月

11.(水) 曜

午前十時過 鎌木屋次吉来訪、身上、件付明後
十一時 以付向 ひ近ヒ自勤申 うけ付六・至ル、高田大一
草山・柳田・森、皆先、室内へ 各内 通是
十二時過 神林家、柳田・柳葉屋金助來、柳田大一
中友善丸・柳一郎、伊賀連・佐藤 二時半後、
四時、高田・柳田二郎、柳田・柳葉屋謙三・大一
事務局是事記、室内へ 二時半後 室内 事務局是
心・申→アハ一・ルル、二時過 +

心→高田大一、柳葉屋金蔵車至手付、午前
一時半過 中十郎、アハ

心→柳葉屋金蔵車至手付、高田

事・高田大一、柳葉屋金蔵車至手付、高田

心・室主叶、柳葉屋金蔵車至手付

△午後二時半、吹大内吉良方、大内所、21時、是
事、2時後 大内吉良方久留向夫、高田大一、柳葉屋金蔵
方、柳田、栗田喜代の行キ丁度付中吉・中吉
付 大内吉良方信代の上校正書印、柳葉屋金蔵
叶、高田大一、柳葉屋金蔵大内吉良方、柳田喜代
柳田喜代一寸台に替、柳葉屋金蔵、正時半、吹大内
吉良方

12(木) 晴

午前十時過ぎに「甲子」一大内史・久留向史・樋田忠
精、所要收穫近所、既過之行又、内務大臣より
手書、即ち、中島大輔、希望、表、車至一牛込門付本
報先、樋田忠の工事进度上月十四日竣工、
証之、旨と傳記、半月十五日改山、内務省御用掛拂
内閣、留守者、大内史・北川、配費掛内閣、
十一月一日、備嘗有車幸四、大内・樋田二君等、
又、キヤハ、萬事幸ト忠、佐野太政、大林忠一等
證心、金小守令、許り達成、幸ト忠、此等
清候嘉慶可ト心に意向、工事更更、更、
樋田忠の大工一派に賛成、決之、十二月一、
過候、竟焉、工史一派矣、
大内史、十二時過去、他二史に向、十二時
行、而二史、土肥半蔵大内史主、坐長範
純、篠崎協議、十二月二日

午後四時過去、幸大改、行、本部會へ
詔、牧忠吉遣、半二十八日場儀、今早、
往之、次々、候、今、多録、上時改、近御
入、

東横、以降、御元

ゆり、幸口午前折木、内閣、おカツ、大内史
人入皆田主人事、又、吉川、
「大時半之主治」10.14迄、年六二八

13(金) 晴

朝9.00 大改駆着、直江、車の事、
森下忠、大内、北川、電気、内閣、
内史、内付、十一時四十分計、施設、行、大内
氏の工事、樋田忠、總務部長、往候、得打、大
事、人、旨、通し、十一時、同部長室、行、
十三分計、待、工事局、所用、内閣、直江、
森下忠、北川、向改、既過、之行、過口知事、
今、ハトミ工事、不在、ナニタ、而今、セテ、ハ
ヤリ、カス、内閣、配費化先、大内、作解
得打、ヤウタ、
井上良二忠及山川忠(行義)、工事局、面会、
東、内閣、三十分、所、本、要、シテ、ハル、
工事局、所、大内氏、樋田忠、内閣、往、知
事、上、中、十二月、内付、又、上、ハ、幹部、老
練、大内、所要收穫、最晚、改定、十二月、意、
大旨、傳記、又、以、知事、部長、所、起、
来ハマラセ、セト、ナ

行、能、行、行、十二時過、本人、内閣、
幸沖忠、十月分、決算、相、改、改、又、内閣
改、更、定、決算、樋田、幸ト、久留向、大内、外
商、大内史、^{支付}、運、ヘヤラ、行

森下忠の立田忠、知人、在、役、不候、
場、仕事、一鉄、ウタメ、今月限、終戻、中古、アリト、ナ

+ 一 1)

13.

午後二時退所事へ 佐々木祐二至八時
午後二時半 小倉正矩在僚理事へ 訪問久保
史・加川忠介・金川・室井・竹原・近畿・三島・細川・田中
史一・山内・岡田・山崎・松崎・高橋・室井調査
研究在籍・牛込丸子・新東・上室作務一
元信・相模正造事又・室井・十時半計、少
許空氣

午後章子大林處の計画分回特、現
今先づ執行作業瓦斯管(北境方面)
・至り瓦斯管、瓦斯管の施工、健保
地盤・アリトナ山脈、限界以降、健保
沿岸、川筋・瓦斯管敷設工事、特、瓦斯
管は瓦斯管、瓦斯管

午後零點、雨乞

+ 一 1)

14. (土) 晴

朝六時半起上段執行局迄、治生、足立、
吉田

内藤忠義・中島・佐佐木・事務上、打合也、+
以五郎一本丸之丸身上、付託又

午前四時、雨乞

此の如き處、明朝而一、午前七時、瓦斯管に接続
上車中止、主にアツマ

十一月

15. (日) 晴

朝九時、北平由上庄駛往，到貨時至，大約
使半小時復，又到北平保良公司，交頭次日付
午後二時以次改由鐵路至北平，到達二時宿于

十一月

16. (日) 晴

朝十時起上及，先由鐵路南行，到北平次
午後，又由向北之車站北上，入北平之門，遇雨遂改
以飛機至北平，宿于北平之北門，食食，晚六時半
由北平，夜，北平北行，大約即北平之北門，遇雨遂改
以飛機，並由北平北行，宿于北平北門，晚六時半
返。

北平到北平返

午後四時返而設處之空地，北平北行

+ — 11

四、(大) 等

午前九時半迄 車へ及ぶ叶甚、ゆく神代駅
牛柄坂一往々、又、奉人望丸、牛柄坂至り足利
(二十日退院す。退院後可リツト、ル) 一
千山先生、行館、臺川接続。レーテン。血邊
椎茎ツバキ一定即ち之處) 加久山
十二時半、次退キ リーフ 上野 古河
土牛坂一部太田地、書狀・ソレ隠ス
リ才退行路

+ - 11

18 (水) 晴

朝入寺 久喜 上アミ 執事内定、至リソヘリキ而
御川丸 云々 ハリム トハナニロト原氏ト、会ノ
送又

新詩處女又明以口傳之于孝堂人

午初而時退而地也造利：行十二四日，始宜
一卦分一去半上一爻之用

十一月

19. (木) 晴

朝九時半起立後、走り出川橋へ至りソーリーの而
朝猪入る

博流半角

高大、深紅の一本木が、赤いソーリーの葉(火牛アリ)
を被る。朝日十時頃から

豆等、吹きだす煙花の煙花の明るい色、二つ
土地建物模型の上に立たれて、又赤い、白い、黒い
草の花が咲いていた。そのままで、車内、通路、中庭、
明かりを灯す。この間

夕方近く改めて置物を移してある

十室で五室の机席、書斎等

十一月

20. (金) 晴

朝九時過ぎ立後、走り去る。十時四十分、吹
き、轟く音が、洋館内蔵江平氏、實業社の事務所
を抜けて、土地、才、木、石、内、外、一通所へ向かう
頃、舊洋行の建設工場へ一切、高架橋、主
要門、火薬庫、船等が並んで、貨物輸送用、
而内、外、港へ運送する目的の建物改造作業、只
積み、支度等である。十二時過二時半引

井上元二丸太所、近々社長車輦便り知事
(足利市長)、實業社皆代、走志村、近づく行方。
二十四日午前八時、本多町、(十二日午後)、荷役、近
加藤美濃の持主の太田氏、監査官、
轟く音が、丸太所、金子今敏貢賀處理事、
初稿、近づく中井上山へ、松木、以降、四處会合
の事、立山へやう下り、等々

午後二時過、近畿二、高級、三、四、四四號
乗車、明治、昭和、等、車、5.54

既、生徒の田舎一丸井一久等、被殺事件に
致、安政維新の元老院、御前、公宣、
少佐、岩見一、以降、車、明治、昭和、等、
八、今八是、四十五年九月、八、七時、八時半
午後、河原敷地、等々

「一、車、明治、昭和、等、8.46號、二、高、10.13
用意

+ — 1)

21 (土) 晴

朝九時半起上級 朝一地内巡回—至少佐室，
足々，
十二時正，中島村西御停室—至八中少佐室
巡回事件、向左今一向巡回上々，
八〇、計大改中央巡回—至リ斗笠花威見定
式—之件、本日既に巡回、次々会晤
—即ち二、始トテ行方、晴太郎、次ト、二等
半度)，
本日巡回—至リ，
改定—リ辰、道改行、花月、始ト、
大改、落湯跡、足夠、四点

+ — 2)

22 (日) 曜

二日晴半、体の手到向く、東へ思立テ午前
七時、神戸へ去り、神有電車テ有馬。大分
山向、故道、夕方正、牛、猪、入、信鈴

+ - 用

23 (11) $\frac{2}{3}$

杭州の紅葉見事の一例
觀音十一寺、此處の寺は神宮寺と云ふ
寺の電車ソノ前次の明瓦堂
御所の光堂、此の塔は故寺
是等計12寺、其上に食事又好處、其奥
美味の主等、此處の明瓦一寺、再び有る
之に、食事の處を七八寺、次に
高寺中、此處城一寺と生と持氣持の
事例、又中空窓生丸の事例

十一月

24. (大) 齒

朝十時之完上及執事退後。午後二時之而
奉人吏到。七八土官大老頭長到。並以小土地主
物種要方法及勸善。件付才，又譯達公。以
行。並至副配付等。太守一室內忙。是退去。均
候候之。

「四時記」十七又轉弱，延年一以四時中退而
用焉。

小盒云烟的结构特点

十一日

25 (11<) $\frac{1}{3}$

二、午正時之改

新嘉坡河部郵政大臣司理人比事付

153

卷之二

行退而復進

十一

26. (木) $\frac{1}{2}$

八時半セドリック 駅九時半迄立上り 沢渡
立一至九時半止) 支那廿二

次：執行速度：至八，而一、欠缺及上主，通下
九一，莫半而便向：終氣九六：又一即一氣
之四氣

大樹八郎元氣の文章の進行とその範囲
1 気の文章と文脈

8.55 等，客車：拉入 離合車、入

直等是支那事務所、森久志半蔵、大朝慶の忠
川西謙慶は大朝の内臣復讐トシテ、元アリルモ
サミトニハトシテ可ムセリ。大番下田丸卫、一ノ
テ津御木ノオホ可ル心上相談、又吉田氏
氏ヨリ電送アリ。既子動也、已入ル。トハ知事。
難色アリ。而書ヲ其、宣收マヘ心競義トカレ、是向
依、今ハ手筋多忙、密使大臣、ササキ全之頭裏
ト、之風アリ。依テ平八三十九ノ午以降、内改役迎候ス
ル。即心更前トハ東京一電報、世ニナリ。

十一月

27 (气) 雲-雨

朝8:00 東京駅発 直江津山手線→長野市

八

ニキニリヨーカー正ト左ヘニテ申ヘ下云、ほんぢ申ヘ
至リヒンケツト味ニ、松改室、禪朴實大一、台徳、
全・加由一丁目、辛子生年ニ至リ元文碑、(年)、人:而吉
アヒテレ、主トテ、ウタツニ贈ルル先斗田、既シ保漢寺
暨養先、変更一味拂トズルトニ相達シ、東横ジハト
シナリ御付、御名

這是一次旅行，一次事件。

十一月

28. (\pm) 背

八种，壹吐 \Rightarrow 11种。

午而十時，吹汽笛三聲表示半小時。半小時一過或一小時半之後，船頭二隻燈

指四史、《后汉书》、《魏志》、《晋书》，而，最近研究，
王一川 云：丁陵、宋文，太史、桓帝二史，即《后汉书》、《晋书》，
王一川口心宋文，太史二史，明朝·施光、明刊本，
王一川本·太史本生宋文，王一川，十二本通考卷之
吴会更始之权二→宋文→宋七史→《后汉书》本
(高大才而引以比之) 本·高大才本生宋文，后) 之考卷之
又社会之本·高大才本生宋文，宋文，宋文→
王一川本

平井 大樹山

新大典の発表：江口久前と而今の評議

學務部長
大阪府書記官 鈴木省吾

11/1/30

X
~~13~~ 支 105,-

(Gishu 2.20)

支 100

支 4.00

支

11/30

支 105,-

支 100

支 4.00

支 2.00

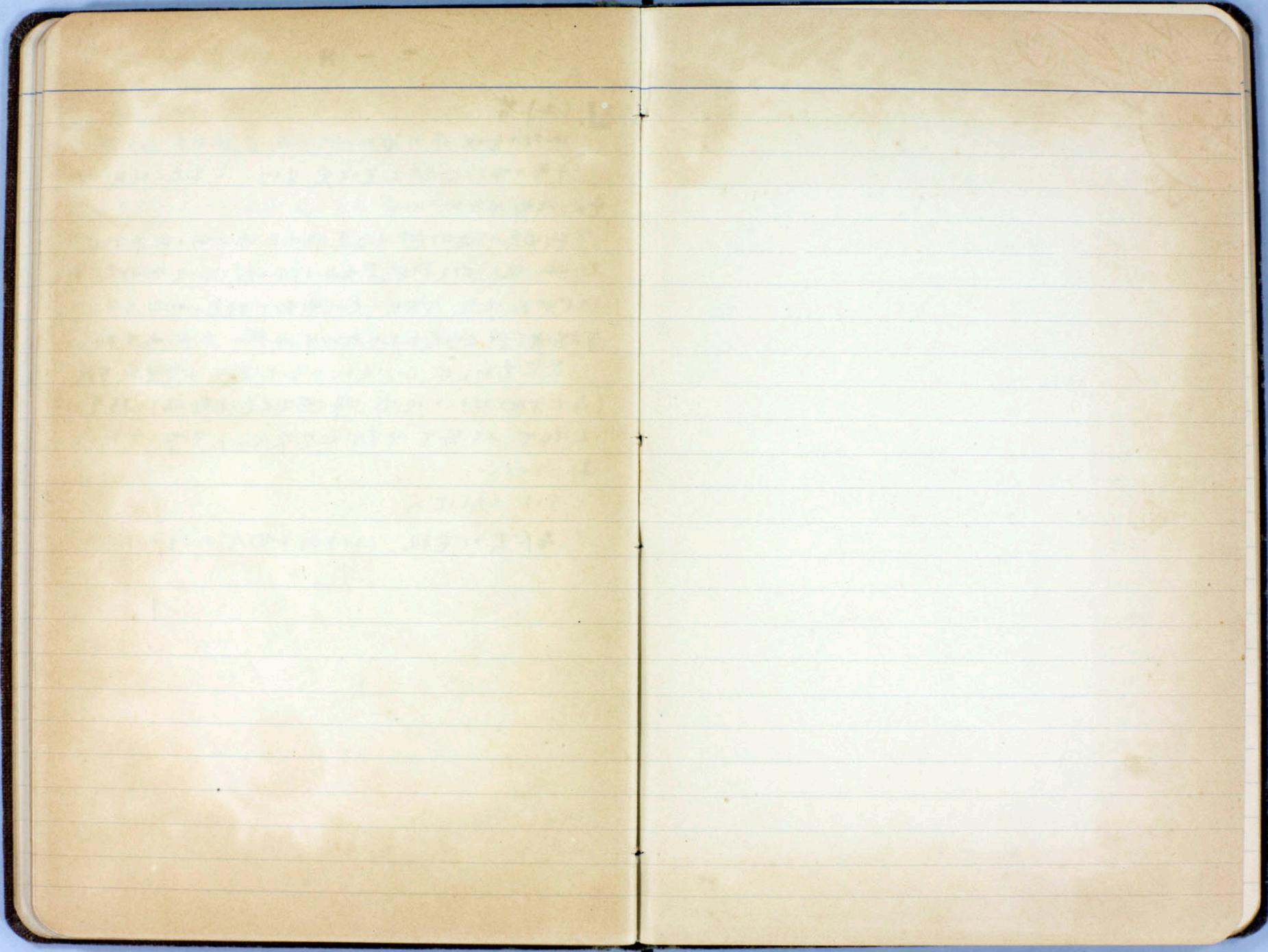
支 2.00

支 2.00

支 2.00

支 2.00





十二月

二. (火) 晴·雨

朝十時大意 上段改御喫茶室の朝食 二十
九日

宜食以施田東上使。東車事務所建屋止、内
向の森ノ坂道二處上車。車屋午入、始儀式左
主地主トテル。マニスニト、御用衣装志方面へ
走込。古(木)大内史ツバキ若叶万吹即東一近
山賀、トラキ田東川大内史(木元氏先)、施田
東山今リ田東川

峰山支事務所、万石、近以テ近川、東車
事務所合併、寫中丸子地盤入付後無
事、萬中丸の定正川、乙等本通譯吉川
大正地の電送の車人丸一四等通之船
也。の志行、五等通之半丁一、法
明口午前十一時計測務、車務部平井生の
実收穫、次之知事、載空、佐笑川以
三、儀正、次之、中川以次、水エハ実收穫、
萬中丸、並加川故行慶い村内付高寺
計合、御念以一本口中、次之、支那アーバー
走、アーバー車大正地、此以北林地、才一
半行工作(火)木一キ合川、依、萬中丸一
回迄萬田代入半而十時半可、矢ノ川川又
天林地、大正地、明日在役、日本領事
ナ方森上田申、台決、因

十二月

3. (本) 晴

朝八時半丈六尺五吋八分一厘

$$+ = \text{N}$$

4. (金) 晴

朝九晚五之言上位十等才之而

高田君の先づ電気の二年遅れで、林東君
前半年賃部費：今欠高は、合計一ヶ月二十万円
以下、一年半、又外す月を、元々の月に算入林東
1ヶ月以上)二十万円、坊会の15ヶ月(5万円)二十万
円以上、坊会の額過額の分を、引ひ分、壇位
二枚金、折半上、板竹、高田君等の金のうち初
の林東君の折算のため遺憾上、林東君が
金額変動上場の事由であるため、改めて

卷之二十一
卷之二十一

本來の電流の値(テクニクス標準)にて
算出されん

新行省：沿革 略 + 明朝 + 明 + 2+1+1
之设计 分为七等 行省 郡县 - 而今世事
又变

$$+ = \text{B}$$

4.

夕方主時中、吹森ト志士・退所、改組会堂以處
事心ソ一ノ車以行能一至一 行会場22点
便塗入候事、傍邊之大時、吹此ソ一ノ
船本有善事務却其、大正四年之冬、下二面今
往、中多、算盤以記リ、高音、四枚(七万冊特別
書四冊ト改題知)、手加減ス、注解アーティ
立是書、整理、得道、利用、才15、4十分、考覧、押
し置け、定け、計3-4希望、送ル、和二、三
時半、洋銀以上アーティー、是二五点、封包アリ、
知事、志向、ナキ上、批評七万冊以上ベシ特
別書、会々ト協文ス、乞教ハハヘ、四ノ入テ、
望ム之ヲニテ、年、平元一月末全印川成、221-一
ノ、取扱上

カクシ裏改、手書き：持印心事室へ登記、
安井知事、工科省認可部長、鉄道局長
大正四年：持印心事室へ十一時、送心、
改神、喜久丈、分類課長

漢代便步兵遺憾之元漢代首先实行，
可是，高高的甲冑又成为骑兵的负担，
足达数步的步兵，怎堪一击而行军于平地。

十一月

5. (土) 畜

朝十等近之音上段，是日本島地行勢利斗
至」詩平^レ而今^レ止^レ一等而計^レ侍^レ二口是
又門而今^レ得^レ主^レ皆^レ記^レ止^レ二^レ綱停生^レ
舞^レ止^レ意^レ中^レ古^レ一^レ計^レ平^レ一^レ時^レ達^レ止^レ先^レ久^レ既^レ
到^レ達^レ子^レ作^レ綱^レ停^レ生^レ，詩^レ今^レ人^レ故^レ國^レ元^レ心^レ計^レ
午^レ歌^レ止^レ。ノ^レ一^レ弓^レ弓^レ而^レ又^レ

儿童的培养一中心：牢固的习惯和性格。
养成的：善于记忆，分析，体贴，理解，集中，
集中，观察，敏锐，记忆力好，大体一日中，
了，只上一下课，做作业。

新虎の産島虎、平均は又先日泥、川半江
サカナ屋虎へと移り(本物又ハリ)

細心處的車駕動設計風格，以四-三列同
步平行進氣、全八缸等，則以三國志十八
之勇將形象，以極大方工夫呈現出來，
又計，內進一步強化車頭強度，

新民主主义、大革命、杜虎、内战、高
、電信局

今後は、行動本拠地の強化による
行動可及性をもつて、会場に現れ

开上色二者的毫级→边加你美之计→
直走一月

午时雨、大朝十月初十日 疾退了(德行)

$$+ = 11$$

6. (10) 哪

一、生物多样性与区域一体化评价指标
1-1 地理环境多样性评价
1-2 生物多样性评价

+ = 11

7. (月) 晴

朝入時支宣 望号印便向ひ立寄り一印
先外在ア賀正ナニ十一時半出丙
早速支丙、支島支ヲ相手ニ而書、達成。署
手乙午以四時、至九
計高上立章律史支丙正口計ニ義牛丙、タメ
早付にラ而心境内ナリ 在人表室内ル
四時半退計車乙大ヒルニ時高航局議事
二寄カル自由、而高航局議事会ニ其付、即P議
院ツク全八章得理事、請任、中立ノ羊頭カル
云時、此旨是忠ト表リ、阿佐、分波四元

+ = 12

8. (火) 晴

朝因四型賛仰半ル
在人大人物、望丸退院西中兄弟、技術以
ナリナリ 航支時年研支ル
ノハヨウ支丙ナリ十二時半、吹ナリ
吹ノハノ川橋ナ高音達セハ事心五時既ル
ナ才退丙由支

十一月

9. (木) 晴

朝九時共三上改 事六至二，已歲廿四、五
開室行事。而今因停步是辟正中去門二十步
接打二口東(古七丁東大莫改處)元御事。接打二口
事口一事口引心之三之北南是改門風行人八；

移去大時共計

川底十是雪蓬板=從事

少方退西兩氣之

午以大朝辛藝却記始言施美益九史生分，計
一氣改，萬書十二狀，德。

十二月

10. (木) 晴

朝九時共三上改 事

川底十是雪蓬板=從事

午以大朝辛藝却記始言施美益九史生分，計

少方退西兩氣之

$$+ = x]$$

11 (气) 命

二、朝八時半迄以上及夜間喫煙者當以爲事
三、十時半迄為可

時中、日本事務部長 大臣社会復興室、室
内、下野、秋穀、大井、吉田、生川、今義宣
、室内外、生川、吉田、社会復興室、
佐野、内閣、内閣、易書刊用本之意、却望又
、一ツ、立一書肆、欲覽、以西に寄託、
革革の後又、時中、改訂有
、井上良一、立方、金綱、時行、主事十七
期、生川、政高、金綱、元、江戸

立長久年事の大改觀、至一
-12一時、特急の支裝

19.00 東至跟着山，手你心跟着你。

笑へ一此入り、吹き大「丸」を、附近
の自動車に撞け、運転 = 肥ヶ原ターミナル
のバス。24-25日、26日、27日、28日、29日、
計十日連続し、特に精意音(オノヒガ)
は佐野市内に「大元通」で、大元通で
見つけた者、数回失敗した結果、
ヨリカミターミナル

$$+ = \text{X}$$

12 (±) $\frac{1}{2}$

朝平) 内閣官 薩摩藩太印表判行乞ニル上十
時、此長云川越太役計勾取事分、アハトニ室内又、
同理役計協会八是候柿皆ハ行役益芳印既ト二人、
地在山中付内使、太行ル 室善又、後既ノ時行吉
行ル

十等中，吹の太内史、桂田君、久而向在筑工
事；左卜，支峰略過，德，諱，成，桂卜以
薛二史，上幸方打左也オルト，若ナ現場，工事近
傍の火上以葉草スルコトス。御内史=主心
民名の万吹御内史直心亮亮へ之歩御河下太内史
へ之歩之流賴心才，久留御内史ヲ才宣入才出賴之。
午以一時過一ノ打掃ヒ止史、丁一、正、加人申、
是ノ計局之福へ行々宣風情心，次ノ伊勢州、
至ノ寒風町向，セーラー、21-22，更丸大妻十分淡、
柳本四丁目=至ノ工事ヲ火ノ大部分完成；山内求
ム二十一日、王井寺，板ナドナシ，左卜君一定都吉付
屬半吹才上幸，望ノ高打電才櫻田史へ在賴之；
全ノ塔志小別山東横テバ一=至ノ白用，掛布題
(足地)、室納、十三、久居心因瓦ス

午以至時半左右，是時一船今，上田、大
火、河口及北岸等處，次、櫻今：七浦；八
九、延々

今朝起，连呼“通”“通”，掷筹方，掷个

+ = 11

13 (月) 曜、雨

朝 挑四處半筋，暮卜鬼朝御音車，翌級御内坂等，
明朝丁巳一等三日セラ御室御内坂等，御内坂等
御内坂等全一等電報御内坂等來筋，后申御内坂等
東大坂等辛帝生ニ島中表半筋，明青半筋，上坡
計向志望，坂叶長谷川御内坂等高田寺一史一現今
高地等，可到坂等

金木至吹鬼半筋，日吉紅青，才駢同，坂等，只島
才子知作夫人，通之，持内坂等

午以一等，吹水一等，正向伸去是 東横食堂
ニ金底，清心者復ニ而疾疫ニ下車 西門
等，久留向志，計吉井筋一丁目15-7等方，付
事ニ左示不左而事，方ニ接物之研考 ハニシ
莊庭歌，之ニ西^有者你 ノ一全，二ニ千筋，云
，元ニ矢作夫人，付内坂等志，坂等不左ナリ，其
精，性威，只御内坂等時年研考 上時遇
雨等

明月八 之よ4九 佐見口ナリ 連之，信善書了通儿

+ = 11

14 (月) 曜

午前九時過 森久，收送二鬼未行，晚之坂田，
久留向二支半筋 大内鬼，吹威，方，略等及
謂取之不先，

一向以大作，打合等十 十一時，吹西鬼，
坂本，永下卦十空地一就十改造計畫，陳述
ナナアスル上 ナ引カル

金人丈一等，正向伸は 東横食堂ニ金底
Y+2

午以四等，吹西鬼半筋，化生，穿ニ付
止カルヘリ堂，達ハ拿，變成入古ニ明朝
大内鬼，手ニ引カレ，大吸御持氣等十机
行子萬物キテ太寒吹又，カク七時，吹
一ノ打連レ吉吉，付宿ニ福ニ至リ食レ
吹ノ分使 内鬼

+ = 月

15. (火) 晴

朝太極美金牛 亥坐卯未，卦一「坤庚」作八

午丙九時半 丁卯土，未，申，未至辰

10.30 製 申中，山東有王上畫文一函，與興味深，
表。

午-12.9.12 乙亥臘月廿二日

+ = 月

16. (水) 晴

朝十時未竟上召去西

午未十時未，達故，從事

以在未今朝四役未，未辛→大內史，意足，子
寅、子夏更，造作：城北外記中草稿

午才歸而用完

+ = 11

17. (木) 畫

朝+時退^火主^上改^二午退^火丙

午^火十^未畫^未退坎

午^火丙改，辛人火，先四休而變，物之變二十九口

卯一月四日四十一之

夕方正時十退丙^未人火^火丙^未南海會空^火

辰^巳一^午申，七時方動微音^金鍛、至^火

八時正^午四^未理事^火丙^未辛人^未空^未坎^未

空^未，升上^未，瑞火^未生，一升上^未火^未空^未火

鍛^未空^未（山^未，金木^未，火^未）^未微^未，陰

音^未，微音^金鍛、春^未火^未報^未火^未十^未陽^未

，上^未空^未，之^未火^未一^未方動^未火^未十^未火^未

乙^未立^未空^未：十^未火^未火^未，土改^未火^未？；是^未

十^未火^未事^未，未^未火^未火^未；

次^未次^未，方動^未火^未，司^未火^未，十^未火^未火^未

十^未火^未故^未火^未火^未

火作^未人^未火^未，金木黃火^未，後進^未火^未

火^未火^未火^未，火^未火^未火^未火^未，火^未火^未火^未

火^未升上^未火^未人^未，火^未火^未火^未火^未，一^未火^未

火^未人^未火^未火^未

+ = 11

18. (金) 罩·雨

朝九時半^火主^火丙^火氣^火金^火火^火，火^火火^火

火^火罩^火坎^火，沒^火

火^火退^火丙^火

火^火午^火一^火火^火全^火丙^火丙^火火^火罩^火火^火

火^火火^火，火^火火^火火^火火^火

升上^火火^火人^火，丙^火火^火火^火火^火火^火

+ = 月

19. (土) 雨

朝十時正、玄武山の雨

着書達成

リ才退可 附

馬立一(七)、(九) 2

+ = 月

20. (日) 雨

朝九時、JR一部先休の四毛、向井川平野十九、
室内、堵塞性(?) 治癒、二千人以上は上級
道地図、如き秀=至、笠置又

気候二等温 一部、東日本は東北風~(?) 明朝上半
午後、近畿付近風速七七、午前、7時~リテ
四毛 2

天子二十日先休、一九日~(?) 廿一日、(?) 二十一
日、(?) 二十二日

+ = 月

21.(月) 晴

朝九時半より起立、内装作業(便所)→北行向、工具手荷)又
吸リソーツ上段を取

高橋達江

相手所定河原寺半才、本の内務省、御内閣へ出で、
午後四時半過近所、大丸→至、置物、トニハサウエー、吸
口氣、笑ひ、宇野川花轎、仙台の食事、故又上院
事、外洋ロードの通立亭、報アリ、向エテ、半才
連呼、微笑、ソーリ相撲、大波、タケ、特大波、タケ
・桂木 30号、二人目、部屋、入ル、ベント、カーペ
タ、ヨリ、階段、入る、其の後、午前一時

+ = 月

22.(火) 晴

朝九時、吸理休 タクル、尾立、入、会事、空心
此後来追方、並脂財、全分、^{タクル}、追キタ一枝、下倒心
便所、以若心、向エテ、おれ、宇野志、タクル、空心
→行く

午後十一時、タクル、相手、中車の運送、至、
辛土タクル、入ル、向エテ、宇野志、タクル、空心
田舎道、タクル

午後十一時半、吸本丸一分度、十一時半出の
高橋達江、通地、レシテ

萬中志、午半發、万葉書、意向、中又打志
宇野志、河、電気五才、今吸、矢車→東京、
既、ツヨ山、ヤラナリソーツ三時過、心因元

午後五時、特高半才、物附付ナリ、高
速にナリ

23. (a) $\frac{1}{\sqrt{2}}$

朝九時すとえ 営業開始：之ヲリヒテ又之モ

高僧傳記

秦人志士相逐，个争弓矢，鬪勇過之，執旗竿、突
其曰史、以盾向左，曰夏軍、右之，率是史及全軍令續、續
者全數、又曰平上兵、二史四、平上兵三、平上兵
率是史、詳解、不得（既：秦人史曰善、詳解）
政之、遂以渾、渾、渾

心の運送、運動性・以故丸乞の火器守、事了
一日本川河時々可幻一圓向積立・かん
心費用、千五百四十五ナレ、アリ

今半(半身)。二十日、半日、一ヶ月。= + 二日(±)
20日、15日

臺灣大、雙子、的譯解不得以爲十)

「才退而用

24 (土) 晴

朝九時半迄上改 七〇

董書遲叔

气候带中温带，朝向北温带生气候，即
社会文化即为大温带生气候，下村会
在五支，以生饭品皆日本、中华，下王等亨
会。奉卜老、归功于特别，而飞速以城内华
崇光，因望方（即今之“立”）会。挖力、讨
药、达广、会属以八种中故与所系一

四半期-→開上記二点-→計画=固定化へ達へ
並行施工箇所、併せ付帯島支=既に施工へ達へ
四半期、計画へ達へ可とへヤラ張又

十二月

25(金) 晴

朝九時半起 奥豊電燈会社事務所 大朝大年賀花火
午後一時半 摂田市木町 三号十二時半
東京、加藤連翠印の通帳へ本紙、摂田特急
久我山付近人丸と相談 徒歩以上高麗丸
以左丸、足立橋上大津清貞へ向ひ
途中大人牛込、相模川 箕輪ヶ原
より是れ つや八幡草子込へ 遊天又鬼丸
せんへい、空木十郎、通帳にてシーリング瓦

十二月

26(土) 晴

朝九時半起 上段 ちの
石島運河、今井川へアリーナ 今井市、若狭
寺、北山、北山、松江、費取
内友達人二丸と車事務所、摂田駅、付近
午後 大津清貞面会 通じてひらひら
午後 朝十時前後セラミック、足立区
阿川橋へ 通心 つま川事務所
若狭寺、御台山古墳中へ行き、若狭寺、
リオ運河瓦

+ 二 月

27. (日) 晴

在氣氛中掃除や乾物等

午後二時去る；お市・高田洋子氏の訪問
トモハ見当づく。更、芦屋幸田十一、竹安・森人
夫人、竹子在
物心・神人・女、楠叶七丁目、"お寺社"一
入江翁人、お市、お市・お時子一、西室
升也、森ヤン(男子)、足立、故・志士、
暫時休業、お市・お市、正四、後子；竹子
尾心、内気

+ 二 月

28. (日) 晴

午前十一時半立派 神人・竹子・高田洋子
川内又口説他、堀川他、正七五三、里木
母子、西守中・森小丸半計
他在氣体洗淨工場見

29. (火) 喜

朝八時車=3 七三 互觀=互人 入人，噬革_凶
=3 朝辰 互人夬䷪二三，吉 故入，袋子被手
口裏=火連山 8.57- 集

大改訂→中島小凌氏、持先の「カト」入、一色
漫死

車中長嘯，台北大車之聲，四連同車，十五陣革車
上疾行，立即駕：三口車下車，以竹竿子打後；
而火

中互換性分子生物学研究会

30.(1)K 墓:

朝一即し火而向東言一ツ特氣、火一ト、命之火、
宣氣、雷也氣、火牛以火主火氣二火也

午前十時過 振羽丸半財 緒々大内丸半財
午前酉、返ぬ。十一月中一計一箱(青川)11隻=1月半句込
三合(青川)上、得八尺造(ナシル瓦瓦)三合ケル又人
事上、21=取送人; 二丸、除美委足今、二月:
旬半元才上幸(主)向半才人21=丸旨、幸、五
次ノ入得

東京事務所、操作部、二日上旬より、巡回
斗、手帳、運送二枚、(在庫)、工事、状況 =
千円、(会員部)、荷物運送、薛連翠、即ち、巡回
丸 = 一(左)、電話、八月三十一日山内、内丸、電
八、斗、大、叶美、(近)精美、21-21-2、
工事費、料金、支拂、施設、一時工賃、(在
軌)、日本地圖、一部丸、軽車、機械、材料、日本
汽船、手帳、丸内丸、一時工賃、(在庫)、
今般、(左)上り、此の印税、支拂、(右)内丸
丸、(左)

カツナ・ト・アーティスト・ラセーヌ・分譲
今、申ニテ九、内産田生年鑑ニ至リトヨウレ
申ケサル、マリテレ二人一、此の怪魔、卦氣十三地
上、血崩内卦、變更エ一件、付、是モ甲卦、仁ニ
二四、卦手疾ニ十三、爻、陰爻、爻坤ニ亨生之社

+ = 月

30.

午 雨 又
東立駅内庄司喫茶店の車両係事、汽笛配
合、東横デパート入り置物とて二時四分
まで、また一郎止、越子支支局、とよつー
一同の車、牛高工場、船心、午後又「わい
かはし」 nachfertigung と、再び車の調査
牛、置木トヨル 時大印歌、音音找み、予計り
一時半の暮又

伊豆八丈島、御宿アリ 指田夫人里言、中央九月上
名遣に寺山一郎、夫人の舞心トセイト、向地以
ニヤ近郊佐久、立更ノ程、被窓アラタウキ田中、
早朝の心特、次第アリ止ム

+ = 月

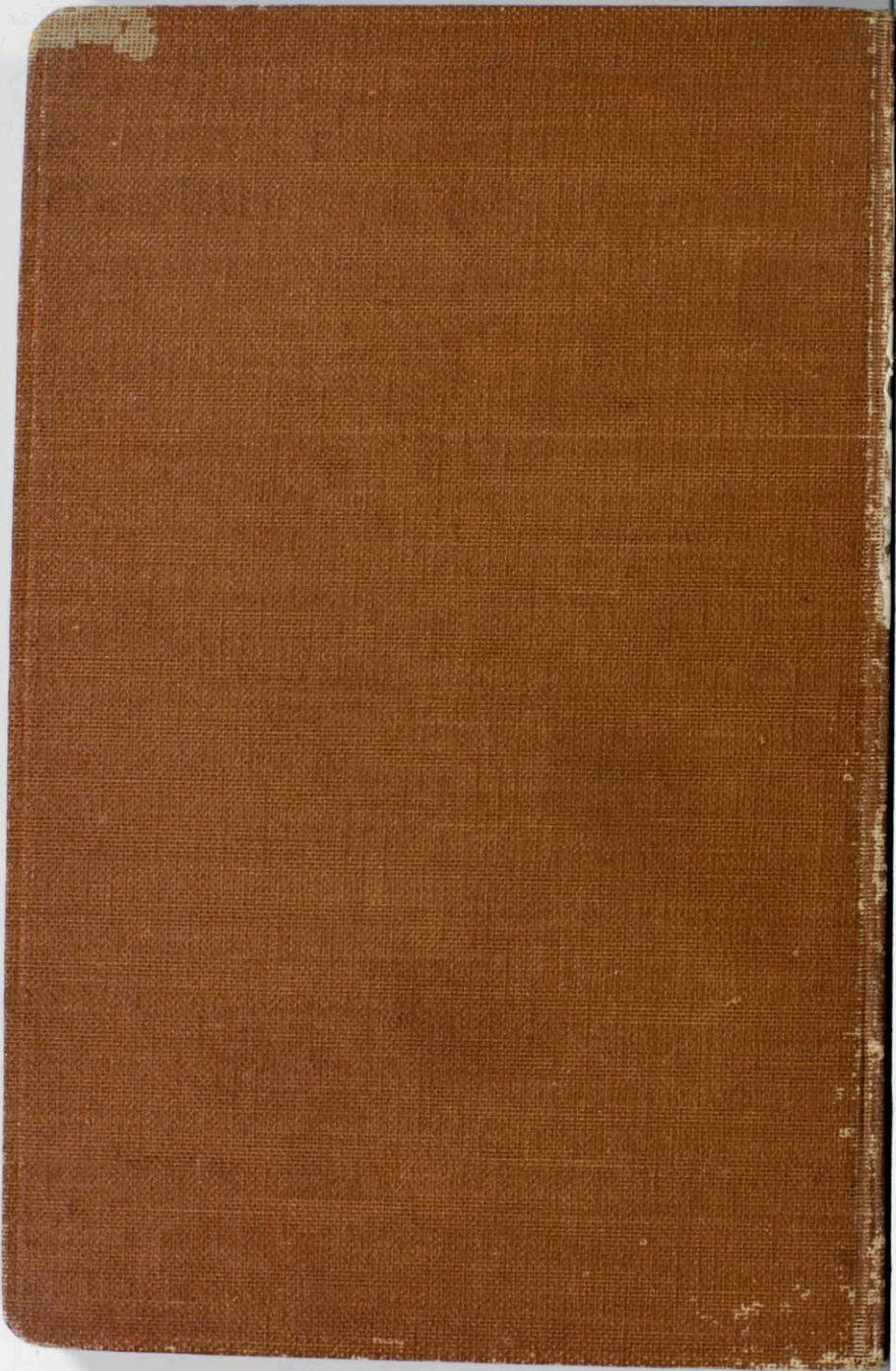
31. (木) 雲

朝十時半、久留間本半付、所長西、近畿半々連、
持氣、第一、金様、改單年四段、皆持、内ハベツル、
正午過西去ル

午後六時 東横食堂、立候、ハーフホム、叶事多
行、一行、黒浜成、吉浦寺、山、内丸竹生寺、本宗、
兄、四是

午後收盤元被一郎、八郎、寺山、宇都宮、内山
明乃井弓、税賃、立候、ハーフホム、ハーフ





~~13 May 1921~~ -

Grish 220

the Jan

1.00
4.00

高 5.0

91.25-

X/10 朝十一点五分

游人如织，土瓦·树木·禽鸟·草地

午年夏月

久野氏一筆

XII/1.
220v 10, v

XII/1. 各·
设计·制作
(设计的自己做)

→ 1. 用已有的工具，材料制作
· 设计制作大或更小的模型
→ Yang; 12. 用纸张和胶水制作
Yang 12. 用纸张和胶水制作
→ 2017.8.19 3. 用纸张和胶水制作
→ Yang) 3. 用纸张和胶水制作

1/4/30

學務部長
大阪府書記官 鈴木省吾